



今年7月の市川公式団・市民団のガーデナ市訪問に続き、10月31日から11月4日までガーデナ市公式訪問団15名が市川を訪れました。写真を主に滞在中の活動を報告します。(P3～P4参照)

## 組織と運営方針見直し案を承認 10月臨時総会で

P2参照

### もくじ

- P 2 … 2023.10 臨時総会
- P 3 … ガーデナ市公式訪問団 市川の秋を楽しむ
- P 4 … ガーデナ市公式訪問団 市川の秋を楽しむ／イベント活動報告
- P 5 … イベント活動報告
- P 6 … イベント活動報告
- P 7 … イベント活動報告／IIA講演会異文化研究シリーズ
- P 8 … 新入会員氏名、在住外国人登録者数

編集・発行：市川市国際交流協会広報委員会  
発行責任者：高梨治夫

〒272-0021  
市川市八幡 2-4-8 3F  
電話： 047 (332) 0100  
ファックス： 047 (332) 0101  
URL: <http://www.iiainfo.jp>  
eメール: [info@iiainfo.jp](mailto:info@iiainfo.jp)

# 2023.10 臨時総会 ~組織改編に伴う2案を承認~

10月6日、書面による臨時総会で組織改編に伴う規約改正と役員人事の2案が以下の通り承認されました。

会員総数334（過半数168）からの回答数211

会長一任および両案承認205 否認3 異議1 無効2

協会では現在、この結果を受けて ①各部会で運営委員を選任 ②イベント等の実行委員会を立ち上げ、新組織による事業運営に取り組んでいます。今号ではまず、これまでの委員会から新たに再編された部会を統括する役員（部会長）からのコメントを掲載します。

## 都市交流部会長(代行)



10月より始まった新体制で、これまでのガーデナ市、楽山市、メダン市、ローゼンハイム市、イッシャー・レ・ムリノー市、の5都市委員会と青年・学生委員会が一つになって、都市交流部会となりました。11月の初めには、ガーデナ市との姉妹都市締結60周年を記念して訪れたガーデナ市の公式団・市民団を盛大に迎え、大変喜んでもらいました。来年3月には、ローゼンハイム市の訪問団を迎える予定です。

これまでの周年の訪問団の行き来による都市交流だけでなく、コロナ禍で学んだオンラインによる交流を続け、更にはこれから都市交流のあり方、日ごろの都市交流はどうあるべきか、などを追及していくつもりです。

## 逸見 総一郎(へんみ そういちろう)

会員の皆さんから自由に意見を出していただき、実行委員として一緒に活動していただきたいと思います。それには、特に学生、社会人として働いている若い方が活動しやすい環境を作ることも必要です。

協会を取り巻く環境が大きく変わる今日、戦争や紛争、分断化の進む世界情勢の中で、新しい国際交流と都市交流を目指して、皆さんとともに進めていきましょう。

## 市民交流部会長



外国人委員会、ホームステイ・ビジット委員会と異文化交流委員会が合同で立ち上げた新しい部会です。コロナ禍を経て、市川市に住む多国籍市民の顔ぶれも大きく変わりました。年齢構成も国籍の割合も変化し新しい形の国際交流活動が求められています。

同じ市川市に住む市民同士としてどんな活動ができるか、私たちの模索は続いている。言葉の壁、制度の壁、そして文化の壁を越えて、外国人住民の安心や安全を守る活動（災害時外国人対応サポート、外国人トークサロンなど）、また若い世代に国際交流の意義や楽しさを伝える活動（小学校での多文化出前授業など）は、継続して行っていきたい事業です。そして今回、

## 村井 美和(むらい みわ)

3委員会合同部会としては、今後は多くの若い方たち、お仕事や学業で忙しい世代の方たちとも一緒に活動したいとの思いから、14名の運営委員を新たにお願いすることができました。自分たちの国際交流への思い、アイディアを生かした事業、気軽に誰でも参加できる、市民のための国際交流の輪を広げていきたいと今ワクワクしています。

ご協力よろしくお願ひいたします。

## 日本語教室部会長



IIAの組織改編に伴い新たに発足した日本語教室部会は、旧日本語教室委員会を継承して以下の4つの活動目標を掲げています。

(1) 外国出身の住民が生活者として必要な日本語を習得できるよう支援する。

## 金子 隆一(かねこ りゅういち)

(2) 日本語が不自由な外国出身の児童生徒が就学できるよう支援する。  
(3) 外国出身の住民が、より暮らしやすくなるよう支援する。  
(4) 地域日本語教室、日本語教室部会の活動を広く内外に認知してもらい、理解者、共鳴者、参加者を増やしていく。現在の主な部会活動は地域日本語教室の支援（日本語ボランティア養成講

座業務受託、ブラッシュアップ研修、教室紹介展示など）と、就学前日本語指導教室への協力です。今後は、引き続き国際交流課等と連携して、日本語教室活動を広く市民に知ってもらい、活動の規模を更に拡大していきたいと思います。また、外国出身者への「コミュニケーション支援」という共通目的を持つ、他のIIA部会と協力していきたいと思います。

## 通訳翻訳部会長



初めてまして。10月に通訳翻訳部会長に就任しました水井礼子です。現役会社員ですが、出勤は週3日のみで、副業をし、休日はジャズ演奏を楽しんでいます。

2020年に通訳翻訳委員会に入会し、まず素晴らしいなと感じたのは、メン

## 水井 礼子(みずい れいこ)

バードの日々新しい事を吸収しようとする意識の高さと、自分達の語学力を外国人の支援にどう生かせるかを常に考える姿勢です。これほど生き生きとした組織を育んで来られた方々には感謝しかありません。

これからの時代、人口減少に伴い外国人との共生が日常になり、生き方も多様化し、市民のボランティア活動への意欲もますます高まっていくでしょう。

通訳翻訳部会が果たせる役割は無限にあると思います。まずは、私自身が他の部会を含めIIAの活動をよく知り、4つの部会が連携してIIAの活動をより多くの市民に知ってもらい、メンバーも外国人も“市川市に住んで良かった”と思えるような環境を作っていくべきだと思います。

何卒よろしくお願ひ致します。

# ガーデナ市公式訪問団 市川の秋を楽しむ (都市交流部会)

10月31日、2便に分かれて成田空港に到着。この日は「シャブシャブ」の夕食、到着したばかりで時差もあり皆さん少し疲れ気味でした。(写真①)



11月1日、市役所第一庁舎に市長、議長の表敬訪問を行いました。市議会議場で両市長の挨拶、記念品の交換などを行いました(写真②③)。その後庁内を視察、1階のファンクション・ルームでは60周年記念展示を訪れ、懐かしい昔の写真などを見学しました。(写真④)



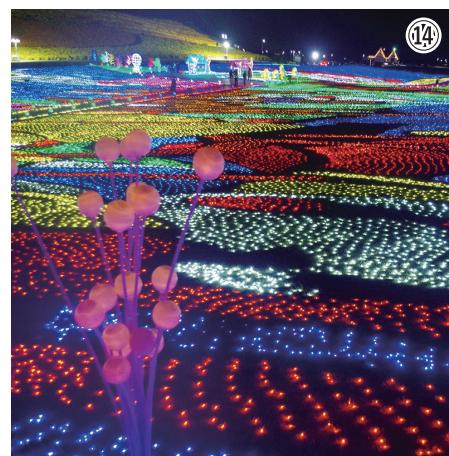
2日午前に訪れた北消防署では多くの署員に迎えられ、起震車による地震体験、はしご車で地上40mまで上昇、火災現場さながらの放水、消防隊員による訓練の様子などを楽しみました。訪問団のなかにはロサンゼルス郡の消防署の関係者もいて、沢山の質問が出ていました。(写真⑨⑩⑪)



一行の滞在先であるヤマザキ・クリエーション・センターでこの日の夜、歓迎夕食会が開催されました。両市長を始め、ゲスト、IIA会員など70名を超える出席者を迎えて(写真⑤)、スピーチ、記念品交換、琴と尺八の演奏、カラオケなどにぎやかな時間を過ごしました(写真⑥)。また、夕食会の前には、お茶席での呈茶(写真⑦)、侍姿のコスプレ(写真⑧)なども行われ、ガーデナの人たちには楽しい経験となりました。



バーベキューの夕食のあとは、園内いっぱいに広がるイルミネーションを楽しみました。(写真⑬⑭)



3日は晴天のもと、第48回いちかわ市民まつりに参加。大洲防災公園で沢山の市民に迎えられ、ステージで紹介され、セルダ市長が挨拶を行いました。60周年記念の法被を着ておまつり広場の出店を廻ったり、懐かしい人との再会や、写真撮影など充実した時間を過ごしました。(写真⑯⑰)



午後は行徳へ移動して、東行徳商店会の歓迎イベントに参加、旧来のガーデナ通り(Gardena Avenue)の新しい看板の除幕式、わかば幼稚園園児の踊り、七中プラスバンドの演奏を楽しみました。ガーデナ側からも飛び入りで即興の歌を披露、大きな拍手を受けました。(写真⑯⑰)

中台製作所では折から行われている「神社めぐり」の日もあり、お囃子や獅子舞も登場、神輿を担ぐ体験もしました。(写真⑯⑰)

最後の夜は、さよなら夕食会でコルトンプラザ内の和食店で次の機会に再会することを誓いました。(写真⑯)

4泊5日の滞在中、毎日晴天に恵まれガーデナ市とあまり変わらない高い気温でガーデナの人たちは快適に過ごすことができました。

「この青い空は、あなたたちがカリフォルニアから運んできたのでは?」と問うと、うれしそうに「そう、そう、間違いない」と喜んでいました。

久しぶりの海外提携都市の受け入れでしたが、市国際交流課、IIA都市交流部会実行委員会、そして多くの会員の努力で無事終了することができました。ありがとうございます。

(山本 恼)

## イベント活動報告

### やわたマルシェ — いちかわ手づくり市 回遊店 in 八幡 (市民交流部会)



に来ていただきました。

出品品はウクライナ支援のグッズ。空色、小麦色の黄色を使ったキーホルダー、テーブルクロス、コースターなど。販売するのはヒマワリの帽子をかぶつて頑張るヴィクトリヤさん、娘さんと避難してきているお母さん(写真左)。ひっきりなしのお客さんへの販売と希望があれば記念のショットも。この販売支援品にはIIAの平井さんが多くのとてもきれいなアメニティーを手作りしていて、売上金はウクライナに寄付されました。

メキシコのブースはネックレス、手づくりタペストリー、鉛筆立てなどを新井クラシエラさんが販売。開店2時間で完売。大人気です。そしてチリからは長澤サンドラさん。イースターのモアイ像ブックレットを目玉に、かわいいアクセサリー類。多くの女性陣の目を魅了しました(写真右)。

とにかくお客様には喜んでもらえ、販売する方も満足。そして素晴らしい国際交流ができた1日でした。

(篠原 剛)

## 多文化共生出前講座～世界の友達の国を知ろう～

(市民交流部会)



市川市による委託事業、多文化共生出前講座がいよいよ始まりました。コロナ禍以前5年間で市内のはぼすべての小学校で実施した多文化共生の出前授業がようやく3年ぶりに再開。23年度はエントリーした6校17クラス（対象は全て6年生）に外国人講師とコーディネーターによる授業を実施する運びとなりました。

まずは10月6日宮田小から始ま

り、宮久保小、幸小での授業をご紹介します。

海外連携都市を5か国持つ市川市の国際交流活動を児童たちに紹介。市川市は外国籍住民が35人に1人、国籍は113か国にも上る国際色豊かな市であることを知ってもらいます。そこで講師、台湾出身の陳さん、スペイン出身のホセさんの登場です。2人に母国を紹介してもらってから、さっそく今日の主題「料理と食文化」に。台湾では朝ごはんを屋台で買って食べる事が多く、学校へ持って行ってもOKと聞くと生徒たちは一齊に「いいなー!!」スペインでも午前中にサンドイッチタイムがあり、昼食は学校でも1時～3時頃までゆっくり楽しむこと、一日に5回は食事をとる事を知りビッ

クリした様子でした。それぞれの料理で大事にしているポイントを教えた後、実際に講師が作って持ってきた料理をデモンストレーション（食べられないのが残念！）。食文化はそれぞれ地理的条件や伝統、文化によって違い、家庭の在り方や時間の使い方にも関係していることを生徒たちは学んだようでした。

今後は、12月に八幡小、南新浜小、1月に曾谷小学校で違う国の方々を講師に招いて異なるテーマでの授業が予定されています。

未来の国際人を育てる重要な事業の一つとして、これからもIIAとしてしっかりと取り組んでいきたいと考えています。  
(村井 美和)

## 第2回ブラッシュアップ研修「対話を通じて考える」

(日本語教室部会)



「日本語ボランティア講師ブラッシュアップ研修」は、市川市内の日本語教室で活動しているボランティアの方々を対象とした研修会です。本年度第2回の研修が10月24日に国際交流ラウンジで開催され、11名が参加しました。講師の油川美和さんは、千葉県地域日本語教育コーディネーターとして、千葉県全域の地域日本語教室の支援や学習支援者（ボランティア）

を対象とした研修講座に携わっておられます。油川さんには、9月9日に市内2カ所で開催した市川市ボランティア養成講座事前説明会にも講師として参加していただきました。

今回の研修のテーマは、「ANADO」～対話を通じて地域日本語教室の課題を考える～でした。『ANADO～あなたならどうする？～』は、北九州国際交流協会が開発した、

地域日本語教育の“あるある”シミュレーションゲームです。参加者はこのゲームをしながら、地域日本語教室の現場で起こる困難や葛藤について、思ったことや感じたことを話し合いました。その中で、課題解決に向けて、まずはお互いの考えを深めていく過程としての「対話」を体験しました。この「対話」の手法は、ボランティアと日本語学習者との間でも役立つものです。参加者は、教室で実際に学習者とどのような対話をしているかを振り返りました。このような対話を重ねることにより、ボランティア同士が「こうありたい」という教室の将来像を、共に考えることができればいいと思います。

(金子 隆一)

## ドイツディ

10月7日（土）素晴らしい天気のもと、毎年恒例となったドイツの食、音楽、文化に年齢を問わず楽しめるイベント「いちかわドイツ～オクトーバーフェスト2023～」がニッケコルトンプラザ中庭のコルトン広場で開催されました。

ドイツソーセージ、ビール、パン、雑貨、ワイン、ドイツ製輸入車等の出

店テナントが店を連ねる中、IIAでは専門の講師を招いてガラス製パーツを使用した装飾品を作成するワークショップを開催しました。お昼過ぎにはチケットが全て完売し約100組の人人がワークショップを体験、午後にはキャンセル待ちが出るほど好評を博しました。

(廣田 祐策)



## 関宿、足利学校へのバスツアー IVIS(市川ボランティア通訳の会)



川崎の民家園に行って以来、コロナ禍を乗り切った4年ぶりのバス英語研修ツアー。10月8日に大型バスを借り切り、外国人9人を含む総勢25人が市川（駅付近の国道14号沿い）に集合し、関宿、足利を目指しました。

した。久しぶりのツアーに、みな興奮気味です。バス出発後、まず英語での自己紹介から始まりました。中国語通訳の李さんも素晴らしい英語です。そして石井さんが最初に訪れる関宿の紹介。昔、古利根川は東京湾に注ぎ、隅田川にもつながっており、大雨が降ると江戸の町が浸水したので、徳川幕府は17世紀にこの利根川を4回にわたり東遷させる大工事を行い、今の利根川水系が出来上がったとのことでした。この東遷の工事の一つが関宿で別れる運河としての江戸川の工事です。江戸川もまた人工的に造られた運河だそうです。この東遷大工事の様子を最初の訪問地、関宿城の資料館で分かりやすく復習することができました。（写真1）緑のランプが点灯しているルートが古利根川です。

次の目的地は足利学校。車中でまた英語での事前学習。今度はいつも

お世話になっているキヤロラインさん、他の方の説明です。文字などを習う寺小屋のような仏教系の学校とは違い、孔子の教えなど儒教を中心とした本格的な学校。この学校はバブル期に整備され今の素晴らしい状態になったとのことです。写真2の後ろに小さく見えています。ここでは足利学校漢字試験がありました。嵐の大ファンで日本に来たという、ほとんどアクセントのない日本語を話すハンガリー出身のサンディーさんが挑戦。問題2の漢字の訓読み。雨、右、円い、月、子、記す等20問にほぼ全問正解で「優」。これにはたまげました。逆に私に与えられた彼女からの問題は嵐の全員の名前を述べよ。結果はもちろん「不可」。

帰途は今回のバスツアーを企画した山口さんが総復習。1日中英語での実地学習をしたようでした。

（篠原 剛）

## 進路ガイダンス2023 in CHIBA 市川を終えて



10月14日市川教育会館多目的ホールで「日本語を母語としない親と子どものための進路ガイダンス 2023 in CHIBA 市川会場」を行いました。受験生と保護者付き添い等46名と県・市教育委員会、高校教員、通訳ボランティア、高校生、大学生、IIA や日本語教室関係者、見学者を含め105名が参加協力しました。

千葉県の県立・市立高校の入試制度について、同時通訳をつけて高校の先生が説明し、参加者は対訳の冊子（13か国用意）も見ながら熱心に聞き入っていました。今年はコロナ前の形式に戻し、中国、英語、フィリピン、ネパール、ベトナムやウルドゥ語など多言語で各言語別テーブルで行われ、活発な質問が交わされました。コロナ禍でできなかつ

た希望する高校の先生方との個別相談も通訳を交え活発に行うことができました。先輩高校生によるアドバイスやエールは大変好評で心強く感じたのではないかでしょうか。

参加者からは大変参考になった。いろいろ聞いて良かったとの感想が聞かれました。また翌日には外国人生徒は初めてという中学校からお礼の報告もありました。

入試制度は日本人にも分かりにくく、日本語を母語としない生徒や保護者にとっては理解出来ない問題のようです。進路ガイダンスを参考に制度に理解を深め、高校に入学できますよう願っています。多くの方々のご協力に感謝申し上げます。

（宮澤 美子）

## INDONESIA-JAPAN FRIENDSHIP FESTIVAL 2023 (都市交流部会)

今年日本とインドネシアは国交樹立65周年を迎きました。先行きの見えない世界情勢の中で、日本とインドネシアの両国友好の重要性は今まで以上に増しています。

2008年に始まった、「日本インドネシア市民友好文化フェスティバル」は、本年15年目となりました。

10月14日代々木公園のイベント広場のメインステージでは、両国の伝統舞踊（日本、バリ、ジャワ、スマトラ舞踊、ケチャックダンス）、音楽（アンクルン演奏 ジャワガムラン演奏、バリガムラン演奏）等が披露され、周りのテントでは、インドネシア料理をはじめ世界の料理を食することができます。

旧メダン市委員会会員が所属しているラグラグ会（インドネシアの歌を、インドネシア語で歌うグループ）も参加し、最後は会場に集まった人たちも交えての大合唱で心がひとつになりました。

SATU HATI （心ひとつに）  
(青野 雅子)

## バディーズ

10月と11月は国際交流ラウンジにてバディーズ主催のイベントを行いました。

10月20日のりんごを使ったフルーツカービングには9名が参加しました。バディーズのタイのポンマニー先生の手元をよーく見てカービングナイフでリンゴをカットしていきます。ちょっとした角度の違いで出来上がりが様々で、先生のお手本のようにはなかなかできませんでしたが、皆さんとても満足した様子でした。

11月17日はお茶会を開催しました。中国・台湾・香港・スリランカ・日本

のお客様とスタッフ約20人が集まり一緒にタイ、日本、中国のお茶の飲み比べを楽しみました。

まずは練乳と砂糖を入れた甘いタイのお茶。練乳に更にお砂糖?!と思いましたが香りの良い濃いお茶にはこの甘さがとても良く合うので驚きです。タイでは辛い食事の後にいただきます。今日はホットティーでしたが、アイスティーにしても美味しいです。

次は日本のお抹茶。一緒にいただく菓子は日本で和菓子を学ばれているマレーシアのミリさんの手作り。銀杏、玉菊、柿を形どった見た目にも美しく

美味しいお菓子でした。甘くなった口に苦めのお抹茶が本当によく合います。最後は中国茶でさっぱりとリセットです。烏龍茶、ポットの中で花開く菊茶、バラ茶、白茶など数種類のお茶を小さな茶器で飲み放題でいただきました。気に入ったお茶を飲みながら歓談のひとときを過ごしました。（狭川 章子）



## IIA 講演会異文化研究シリーズ (IIA 自主事業)

### 第3回「ドイツとは何か」



「ドイツとは何か」、この演題からは様々なことが連想されますが、新谷氏の講義は、ドイツという国になりたちを歴史、言語、人種、他国との関係という視点から探るものでした。EUのなかで一時経済的に独り勝ちのドイツそして現在でもEUの主要国として存在しているドイツ、でもわれわれ日本人は案外その成り立ちについては知らないこと

が多いと感じました。

ドイツ連邦共和国の国名は、日本ではドイツ、英語圏ではジャーマニーですが、その他にゲルマニア、アルマーニュ、サクサ、ニエムツイなど多岐にわたり、民族や地理的位置、国と国の関係性などにより名付けられているようです。国名一つをとっても、このように知らないことがあります。

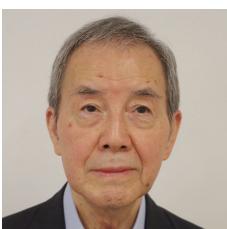
日本人は第二次世界大戦で同盟国、敗戦国であるドイツに親しみを持つ傾向がありますが、ドイツ人はそれほどでもないということも分かりました。

- 開催日：8月26日
- 開催場所：国際交流ラウンジとオンライン
- 講師：新谷 卓氏  
(ドイツ、EUの政治研究を専門とする政治学博士です)
- 参加者：会場14名、オンライン2名

会場からの質問では、ローゼンハイム市委員会会員を主に日本との関係を問うものが多かったようです。ドイツとの国際交流を進めるうえで、このように相手国について知識を深めることは有意義であると感じました。

（山本 恵）

### 第4回「いまや English は Englishes の時代」 —「ネイティブ英語」信仰からの脱却の勧め—



英語が世界の共通語的役割を果たしていることは広く認知されています。Englishesとは多様な英語たち、つまり英語は母語として話す者と母語ではないが英語が公用語であったり、第二言語であったり、全くの外国語である者に分けられるということです。そして、今日では英語を母語としない英語話者が主流となっているのです。数字的に見ても、2019年でEnglishesの人口は約20億人、世界人口の約26%にあたります。そして、Englishesの人口内訳は母語20%、公用語・第二言語25%、外国語55%となっています。

Englishesの具体例としてインド英語、フィリピン英語、シンガポール英語を紹介しました。これらの国は、英

語を公用語や第二言語としており、それぞれの特徴を持っています。

英語を母語とする国でもイギリス英語、オーストラリア英語などそれぞれの特徴があります。このように国や地域によって英語が変容していくことは必然であると講師は解説しました。そしてEnglishesの出現はこの言語変容の必然性によっておこっている現象であるとしています。

それでは、Englishesの受け止め方はどうでしょうか? 正当な英語でない、教養のない人たちが使う英語だという危うい受け止めもありますが、正しい受け止め方は、自然の理によって生まれた言語であり、それぞれの国や地域で使われている正当な英語であること、すでにEnglishesを使う人口はネイティブ英語を使う人口を超えていくことなどから正当に認めることが必要です。

- 開催日：10月28日
- 開催場所：国際交流ラウンジとオンライン
- 講師：森住 衛氏
- 参加者：会場10名、オンライン6名

最後に日本人が英語を話せない一番大きい理由として、英語に対して完璧性を期待しすぎて「正しい言い方」に縛られていることをあげました。この縛りから脱却して「堂々と話す」ことが必要です。

会場からの質問で、「日本の英語レベルがダウンしているが何故か?」というものがありました。講師の答えは、英語を使う動機が少ない、英語がなくても生きていかれる、国際性ということに必要性をあまり感じていないなどから、今まで良い、勉強しないという循環で他国に遅れを取っているとしました。

「英語は話す、話さないではなくその構造や文化的、教育的側面を学ぶべきもの」という講師の信念を語り、講演会は終了しました。（山本 恵）

## 第5回「歴史的変遷から探る、フランスの人権／自由・平等・博愛の誕生」 —市民の多様性と統一性のバランス—



武村 講師は、フランスについては専門外ですが、23ページに及ぶレジュメ、自ら撮影した映像を交えたパワーポイントを使いフランスという国、特に「人権」「教育」に焦点を当て①フランスの歴史概観、②人権／自由・平等・博愛の実践、③教育の3部構成で講演をしていただきました。

フランスは古代ケルト人の居住地域であったころから現代まで長い歴史を持っており、国の形態としても王制、皇帝制、共和制へと移行してきました。その中でフランス革命は民衆蜂起という遺産を市民に残し、自由、平等、博愛が国の理念になったことから最も重要な歴史上の出来事と解説されました。革命は未完といいます。未完とは、革命の理念や目標は現代に至るまで完全に達成さ

れておらず、そのプロセスが進行中であるという意味です。

フランス国旗の「トリコロール」に象徴される自由・平等・博愛の実践はどのように成されているのか？その答えとなるキーワードとして「ソフトパワー（文化や政策による国の魅力）」「自力本願（自由・平等・博愛を普遍的価値とする市民の力）」「哲学の重視（人々の価値観をささえてきた哲学者たち）」をあげました。市民の参政意識は強く、外交では多国間主義を貫いています。文化面でも、文学、絵画、映画などでフランスの感性と影響力を發揮しているのです。

このような国、市民の力の源として「教育」があります。フランスの義務教育は3～16歳まで、公立学校の授業料は大学まで無料です。高校卒業から高等教育に進むには「バカロレア」の資格を取ることが必要です。大学に進学してもその卒業率は35%（2021年度）と非常に厳しいものとなっています。フラン

- 開催日：11月18日
- 開催場所：国際交流ラウンジ
- 講師：武村 秀雄氏
- 参加者：10名

スは学歴社会なのです。

民主主義の先進国と言われるフランスにも「ひづみ」は生じています。初等・中等教育現場での「いじめ」の問題、人種別の統計を取ることが禁止されている人権の国フランスでも人種差別に抗議する暴動の発生、多くのユダヤ教徒、イスラム教徒を抱えることから、今般のパレスチナ情勢による社会の不安定化などです。

一貫して人権と平和を不变的な価値観として国民が共有しているフランスはやはりヨーロッパ内でもリーダー的な存在であり、日本が学ぶべき所も多いと感じました。

今回は出席者が少なく残念でしたが、講演後も質問、意見が活発にて有意義な講演会となりました。

（山本 恵）

### 新入会員氏名（2023年6月～11月）

氏名（フリガナ）（敬称略）

参加を希望する部会

部会等の略号

都：都市交流部会、市：市民交流部会、日：日本語教室部会、通：通訳・翻訳部会

太田久美子（オオタ クミコ）都、市、日、通  
森 成子（モリ セイコ）日  
堀木めぐみ（ホリキ メグミ）市、通  
林 圭子（ハヤシ ケイコ）市、日  
川島 由香（カワシマ ユカ）通  
早川 和作（ハヤカワ ワサク）都、市  
朴 政基（パク チョンギ）市  
日下 裕之（クサカ ヒロユキ）都、市、通  
小路 稔徳（ショウジ トシノリ）市  
福田充二郎（フクダ ミツジロウ）日  
Kusalika Herath（クサカ ヘラト）市、通  
Lau Khim Heng（リュウ ケンコウ）市、通  
ジャミル シャママ 市、日、通

沖田 友紀（オキタ ユキ）市  
Sewaris Vidal Josu Antonio  
(セニヤリス ヴィダル ホセ アントニオ) 市  
Alvares Cabral Beserra, Tacito Magnum  
(アルバレス アブラル ベセラ) 市  
松村 茉伊（マツムラ マイ）市  
長野 立美（ナガノ タツミ）日、通  
野口 敦子（ノグチ アツコ）都、市  
小泉恵美子（コイズミ エミコ）都  
Kaputava Iryna（カブタバ イリナ）通  
七海 衛（ナナミ マモル）日  
本柳利矢子（モトヤナギ リヤコ）市  
横澤 純子（ヨコザワ ジュンコ）市

### 市川市在住外国人登録者数及び上位10か国の人数 2023年11月1日現在（）内は昨年同月数

①中国 6,475 (6,165)	②ベトナム 2,087 (1,768)	③ネパール 2,010 (1,678)	④フィリピン 1,577 (1,556)	⑤韓国 1,379 (1,413)
⑥インド 693 (631)	⑦ミャンマー 677 (515)	⑧スリランカ 552 (438)	⑨タイ 484 (456)	⑩インドネシア 391 (240)

総数115か国19,275人(109か国17,597人) 市川市総人口 493,015人(492,363人)(市川市総人口は2023年と2022年11月1日現在)